

香川大学 2017年度後期 国際協力論 講義実績

Ver.11 (2018/2/9)

回数	日付	講義内容	担当講師
1	2017/10/6	オリエンテーション、国際協力とは、(一部協力隊募集案内)	野田・JICA四国担当
2	2017/10/13	我が国ODAとJICAの協力概要	JICA四国 高橋支部長
3	2017/10/20	開発協力のトレンドとMDGs・SDGs、協力各論1(母子保健)	野田
4	2017/10/27	研修員による発表と交流(妊産婦の健康改善コース)	野田・瀬戸内圏研究センター
5	2017/11/1	協力各論2(バングラデシュ少数民族支援)	野田・教育学研究科田中さん
6	2017/11/10	留学の勧め(Explore、トビタテ)、留学体験談など紹介	植村講師、国際G、帰国学生
7	2017/11/17	協力各論3(世界の水問題)	JICA地球環境部 加治職員
8	2017/11/24	NGOの仕事1(セカンドハンド、カンボジア支援)	三木特任教授、学生
9	2017/12/1	中国学生訪問団との交流	野田・国際G
10	2017/12/8	研修員による発表と交流(アフリカ地域村落飲料水管理コース)	野田
11	2017/12/15	NGOの仕事2(AMDA、ミャンマーマイクロファイナンス)	AMDA 山上専門家
12	2017/12/22	協力各論4(開発課題の分析とプロジェクトデザイン)	野田
13	2018/1/19	香川県内企業の海外展開と国際協力	JETRO香川 久世職員
14	2018/1/26	国際協力を仕事にする	JICA人材部 渡辺次長
15	2018/2/2	協力各論5(アフリカの開発を考える)	野田
16	2018/2/9	まとめ	野田

## 平成29年度 徳島大学「国際協力論—この貧困と紛争の尽きない世界で」日程

No.	月日	講義名	主な内容(予定)	担当講師
1	10月4日(水)	問題提起「なぜ国際協力をするのか」	授業の概要、進め方などを説明した後、国際協力の必要性に関する問題提起のほか、世界の動き(SDGs、パリ協定)、基本的な用語・概念などを解説する。	饗場和彦(徳島大学)
2	10月11日(水)	世界の格差を実感するワークショップ	受講生参加型のワークショップを行う。世界の格差、不公正を実感する「世界がもし100人の村だったら」。	滝下智佳(NPO法人里山みらい・神山町地域おこし協力隊)
3	10月18日(水)	フィリピンのごみ山で働く少女の日常	テレビ番組のドキュメンタリーを見て、貧困地区での暮らしや人々の考え方について、受講者間で議論しつつ学ぶ。	新田恭子(日本チャリティーショップ・ネットワーク・共同代表)
4	10月25日(水)	徳島大学生による取り組み	徳島大の学生らが地元NGOと協力しながら行っているイベントや勉強会の取組について聞く。	徳島大学生(TICOユース)
5	11月8日(水)	バングラディッシュ先住民への支援活動	バングラディッシュ先住民に対する教育支援を行う、香川大学院生の活動について学ぶ。	田中志歩(aste・代表)
6	11月15日(水)	地元NGOによる貧困問題(アフリカ)に対する支援活動	アフリカ・ザンビアの貧困地区における保健・医療支援、学校・教育支援、マイクロクレジットなどの取り組みを学ぶ。	吉田修(NPO法人TICO・代表理事)
8	11月22日(水)	途上国の道路補修の支援	「土」や「木」を使った簡易な工法(土嚢)による住民主体のインフラ整備支援について学ぶ。	木村亮(NPO法人道普請人・理事長)
7	11月29日(水)	フェアトレードを考えるワークショップ	カカオ豆からチョコレートをつくる過程を実演しつつ、背景にある不公正取引の実態、フェアトレードの概念、仕組みなどを学ぶ。	柏原里砂(シヨコラトリー)
9	12月6日(水)	JICAの活動とODA	日本政府のODAを実施する機関としてJICAが行っている様々な活動を知り、ODAの意義と問題点を考える。	高橋政俊(JICA四国支部・支部長)
10	12月13日(水)	JICA研修生との交流	徳島に来ているJICA研修生を招き、交流、意見交換を行う。現地の暮らしや社会を知ると同時に、コミュニケーション力(英語力)をつける。	JICA研修生
11	12月20日(水)	青年海外協力隊の活動	JICAの活動の一環として、日本の若者が青年海外協力隊に参加して発展途上国の現場で支援活動に取り組んでいる。その体験談を聞く。	青年海外協力隊OB/OG
12	1月10日(水)	難民の実態と支援の活動	難民・避難民が絶えない世界の実態、その苦境と支援の仕方、日本の受け入れに伴う問題などを難民当事者(インドシナ難民)から学ぶ。	ハ・ティ・タン・ガ(神戸定住外国人支援センター・職員)
13	1月17日(水)	紛争地における平和構築支援の活動	南スーダンなど紛争現場の実態と、さまざまな平和構築の取り組みについて知る。	山田彩乃(日本紛争予防センター・職員)
14	1月24日(水)	国連とUNDPの活動	国連の概略とその一機関としてUNDP(国連開発計画)が行う開発支援の内容について学び、また国連職員のなり方についても聞く。	近藤哲生(UNDP駐日代表事務所・代表)
15	1月31日(水)	世界の紛争と貧困を知るための映画	国際協力や途上国の実態を伝える映画、ドキュメンタリーを見て、問題意識と知識を深める。	饗場和彦(徳島大学)
16	2月7日(水)	総括と補足	授業を通して学んだことを受講生同士で話し、なぜ国際協力を行うか、どのように行うか、などの答えを確認する。	饗場和彦(徳島大学)

2017年度 高知大学 課題探求実践セミナー（国際協力入門）

～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名	主な内容	担当講師(所属先・役職名)	関係県
1	4月14日	「協力」の意味を考える。高知でできる国際協力	学生でもできる国際協力はたくさんあります。具体的な活動事例を通じて、自分でできる、高知でできる協力の意味を考えます。	国際茶屋(学生団体) コンパス(学生団体) 石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知
2		国際協力ワークショップ I	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
3	4月21日	国内及び海外におけるボランティア活動の意味とは？	地域におけるボランティア活動の意味を各自の体験から振り返ります。また、海外でのボランティアと国内でのボランティアのつながりを考えます。	蓮井孝夫(特定非営利活動法人香川国際ボランティアセンター・会長理事)	香川
4		国際協力ワークショップ II	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
5	4月28日	国と国とのつながりと問題のかかわりを考える・国際協力ワークショップ III	グローバルな時代において、なぜ、貧困は無くならないのかについて、貿易ゲームを通して考えます。	石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知
6					
7	5月12日	中東諸国における国際協力	JICA事業の特徴、青年海外協力隊事業ほか、国際協力の現状を学び、中東諸国の社会状況と現地で取り組まれている支援について紹介するとともに、日本人としてできることは何かを考えます。	杉尾智子(JICA四国・高知推進員)ほか	高知
8		国際協力ワークショップ IV	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
9	5月19日	アフリカ支援と地域とのつながり	アフリカ大陸にあるモザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD(持続可能な開発のための教育)の意義を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考えます。	竹内よし子(特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表)	愛媛
10		国際協力ワークショップ V	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
11	6月2日	課題のつながりと人のかかわり考える・国際協力ワークショップ VI	アマゾンにおける環境問題が解消されない根本的な原因はどこにあるのか。課題と課題のつながりとそれに関連するステークホルダーのかかわりを考えます。	石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知
12					
13	6月9日	国際協力ワークショップ VII・ラオスから考える平和と国際協力のあり方	ラオスにおけるベトナム戦争の被害状況、教育支援活動が求められる現状等から、国際協力のあり方、地域と国際社会における市民社会の構築を考えます。	蓮井孝夫(特定非営利活動法人香川国際ボランティアセンター・会長理事)	香川
14					
15	6月16日	私たちができる国際協力とは？	授業を通じて、学んだこと、考えたことをふまえて、私たちができる、高知でできる国際協力を考えます。	石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知

愛媛大学国際協力論 前期土曜2限【夜間扱い】

- 1.イントロダクション：マクロ経済・社会指標にみる日本とウガンダでの生活の違い
- 2.開発援助の定義：日本の「大綱」とその変遷
- 3.開発援助のプロセス、役割、アクター、場
- 4.現在の日本の援助機関の組織構造とその歴史的変遷
- 5.日本以外の二国間ドナーの実例と類型
- 6.多国間ドナーの実例と類型
- 7.非政府系ドナーの実例と類型
- 8.国際レジームレベルにおける規範①：開発目標、アンタイド化
- 9.国際レジームレベルにおける規範②：援助効果理論
- 10.実務レベルにおける規範①：プロジェクト型援助とプログラム型援助、プロジェクト型援助のログフレーム・アプローチに基づく管理
- 11.実務レベルにおける規範②：プロジェクトごとのインパクト推定方法の説明
- 12.プロジェクトごとのインパクト分析の紹介①道路補修、起業支援、職業訓練
- 13.プロジェクトごとのインパクト分析の紹介②就学支援、性感染症予防
- 14.開発援助のマクロ経済的効果：検証方法の説明、既存研究の紹介、援助効果化の取り組み実態とその原因
- 15.開発援助配分先と配分量の政治的起源とその外交的効果の検証、新しい開発援助の紹介（地方自治体による開発援助とBOPビジネス）